

# 棚付2連紙巻器

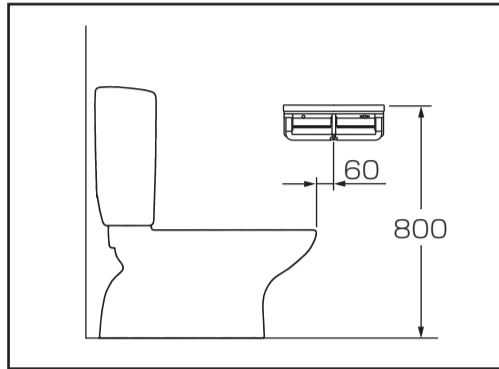
CF-AA64 CF-AA64KU CF-AA64S

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

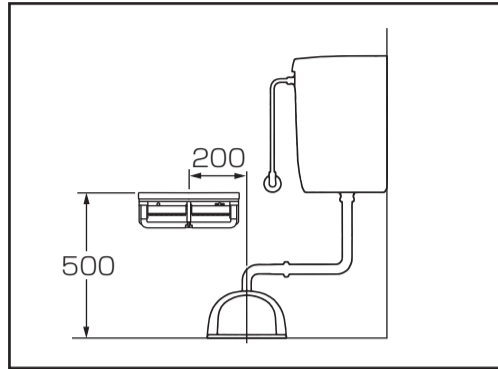
## ●取付位置

下図は取付参考位置です。  
現場の状況に応じて取付位置を決めてください。

洋風便器の場合



和風便器の場合




## ●安全上のご注意

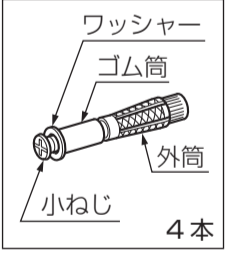
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## ●施工方法

※取付壁は必ずフラット面を確保してください。(不陸がある場合は、ワッシャー等で調整してください。)

壁工法	取付部材	施工上の注意	施工要領
乾式壁	タッピンねじ 同梱部材  タッピンねじ (φ4、L=35) 4本 必ず同梱のものを使用してください。	板厚は30mm以上確保してください。板厚が足りない場合は、壁裏への取付木(補強木)を設けて、板厚が30mm以上となるようにしてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	1. 棚が水平になるように紙巻器の取付穴位置を取付場所にマークします。(図1) 2. 下穴を4箇所あけます。下穴径はφ3~3.5mm(深さ35mm)です。(図2) 3. 4本のタッピンねじで取り付けます。(図3) ※長さ120mm以上のドライバーが必要です。 ※ドライバーで紙切り板や棚をキズつけないよう注意してください。 ※アームを出した場合は、本体へ戻してください。戻さないとアームにぶつかってケガをしたり、アームが破損する恐れがあります。

※ボード張りの厚みが12.5mmを越える場合は、越えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。

壁工法	取付部材	施工上の注意	施工要領(※詳細は、工事用図面集をご覧ください。)												
湿式壁	AYボルト(別売)  ワッシャー ゴム筒 外筒 小ねじ 4本	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁仕上材(モルタル、モルタル+タイル)の厚みによって使い分けてください。</li> <li>30mmを越える場合は、越えた分だけ長いAYボルトを別途用意してください。</li> <li>当社のAYボルトを使用できる壁仕上材の厚さは次の通りです。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>壁仕上材の厚さ</td> <td>当社AYボルト</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>20mm以下</td> <td>AY-21W</td> <td>別売</td> </tr> <tr> <td>20mm~30mm</td> <td>AY-22W</td> <td>別売</td> </tr> <tr> <td>30mm以下</td> <td>なし</td> <td>別途用意</td> </tr> </table>	壁仕上材の厚さ	当社AYボルト	備考	20mm以下	AY-21W	別売	20mm~30mm	AY-22W	別売	30mm以下	なし	別途用意	1. 紙巻器の取付穴位置を取付場所にマークします。 2. コンクリートドリルを使用して下穴をあけます。(図4) 下穴寸法は下表の通りです。 3. 外筒をボルトに取り付けたまま下穴に差し込みます。(図5) 4. ゴム筒の端を壁面から出ないように押さえて、小ねじの頭部を強く引っ張ってからゴム筒、小ねじを外します。(図6)(図7) 5. 紙巻器を小ねじで取り付けます。(図8)
壁仕上材の厚さ	当社AYボルト	備考													
20mm以下	AY-21W	別売													
20mm~30mm	AY-22W	別売													
30mm以下	なし	別途用意													

※ALC板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。

※木すり下地、ラスボード下地への取り付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に厚さ30mm以上の取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

※施工後、紙切り板裏の重りケースがきちんと取り付けられているか確認してください。

※シャワートイレ用リモコンをご使用の場合、付属の説明書に従って施工の上、リモコンが正常に作動することを確認してください。

### 用語および記号の説明

#### 注意

-----「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



-----「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



-----「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

指示実行

### ⚠注意

外れたり、がたが生じないように、強固に取り付けてください。  
※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。



指示実行

取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、AYボルトを使用してください。  
※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。



指示実行

石こうボード等の木ねじのきかないボード張りの壁には必ず取付木(補強木)を設け、ねじ込み深さを確保してください。  
※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。



指示実行

# 棚付2連紙巻器

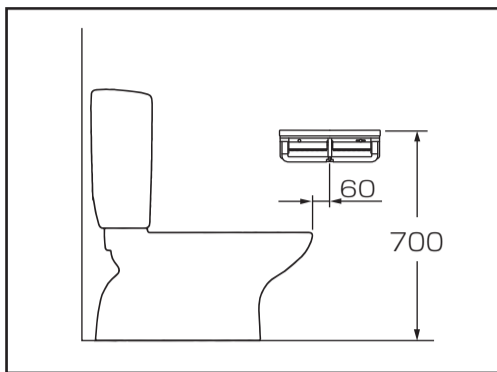
CF-AA64KUT

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

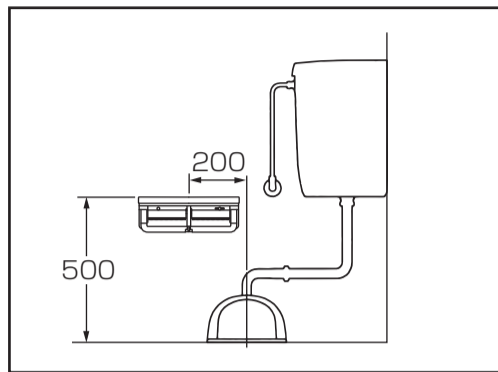
## ●取付位置

下図は取付参考位置です。  
現場の状況に応じて取付位置を決めてください。

洋風便器の場合



和風便器の場合



## ●安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## ●施工方法

※取付壁は必ずフラット面を確保してください。(不陸がある場合は、ワッシャー等で調整してください。)

壁工法	取付部材	施工上の注意	施工要領
乾式壁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タッピンねじ 同梱部材</li> <li> タッピンねじ (皿頭) (φ5、L=55) 4本</li> <li>必ず同梱のものを使用してください。</li> <li>・固定ねじ 同梱部材</li> <li> 小ねじ (トラス頭) (M4、L=10) 2本</li> <li>必ず同梱のものを使用してください。</li> </ul>	<p>厚み 18mm 以上の構造用合板 (JAS 規格品) または、同等以上の下地材 (30mm 以上の補強木等) を設けておいてください。</p> <p>※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。</p>	<p>1. 棚が水平になるように棚ブラケットの取付穴位置を取付場所にマークします。(図 1)</p> <p>2. 下穴を 4 箇所あけます。下穴径は φ 3.2 ~ 3.7mm (深さ 50mm) です。(図 2)</p> <p>3. 4 本のタッピンねじで取り付けます。(図 3)</p> <p>※長さ 120mm 以上のドライバーが必要です。</p> <p>※ドライバーで紙切り板や棚をキズつけないよう注意してください。</p> <p>※アームを出した場合は、本体へ戻してください。戻さないとアームにぶつかってケガをしたり、アームが破損する恐れがあります。</p>
			<p>4. 紙巻器を棚ブラケットに固定します。この時、紙巻器上面の溝と棚ブラケットのレールを合わせ、スライドさせながら紙巻器が棚ブラケットに当たるまで押し込みます。その後、固定ねじで固定します。(図 4)</p> <p>図 4 紙巻器 固定ねじ (2本) アーム</p> <p>※紙巻器にはねじ穴が4ヶ所ありますが、使用するのは下図の2ヶ所のみです。</p> <p>使用するねじ穴</p>

※ボード張りの厚みが 12.5mm を越える場合は、越えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。

壁工法	取付部材	施工上の注意	施工要領 (※詳細は、工事用図面集をご覧ください。)						
湿式壁	<ul style="list-style-type: none"> <li>AY ボルト (別売)</li> <li> ゴム筒 外筒 小ねじ (皿頭) (M5、L=65) 4本</li> <li>必ず同梱のものを使用してください。</li> <li>・固定ねじ 同梱部材</li> <li> 小ねじ (トラス頭) (M4、L=10) 2本</li> <li>必ず同梱のものを使用してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取付部材として別売の AY ボルト (AY-74) を使用してください。</li> <li>・下地はコンクリートとし、取付部の奥行は 70mm 以上 (コンクリートの厚さは 40mm 以上) を確保してください。</li> <li>・壁仕上材 (モルタル、モルタル+タイル等) の厚さは 20mm 以下としてください。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>AY ボルト</td> <td>下穴寸法 (下穴×深さ)</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>AY-74 (M5×65皿頭)</td> <td>φ8.5~9.5 ×70</td> <td>別売</td> </tr> </table>	AY ボルト	下穴寸法 (下穴×深さ)	備考	AY-74 (M5×65皿頭)	φ8.5~9.5 ×70	別売	<p>1. 棚が水平になるように棚ブラケットの取付穴位置を取付場所にマークします。</p> <p>2. コンクリートドリルを使用して下穴をあけます。(図 5) 下穴寸法は下表の通りです。</p> <p>3. 外筒をボルトに取り付けたまま下穴に差し込みます。(図 6)</p> <p>4. ゴム筒の端を壁面から出ないように押さえて、小ねじの頭部を強く引っ張ってからゴム筒、小ねじを外します。(図 7) (図 8)</p> <p>図 5 コンクリート モルタル タイル</p> <p>図 6 外筒</p> <p>図 7 ゴム筒 外筒が押上げられ穴に密着します</p> <p>図 8 コンクリートの中に外筒が 1/4 以上は入ること</p> <p>5. 棚ブラケットを小ねじで取り付けます。(図 9)</p> <p>6. 紙巻器を棚ブラケットに固定します。この時紙巻器上面の溝と棚ブラケットのレールを合わせ、スライドさせながら紙巻器が棚ブラケットに当たるまで押し込みます。</p> <p>その後、固定ねじで固定します。(図 10)</p> <p>図 9 棚ブラケット</p> <p>図 10 紙切り器 アーム 固定ねじ (2本) 使用するねじ穴</p> <p>※紙巻器にはねじ穴が4ヶ所ありますが、使用するのは下図の2ヶ所のみです。</p>
AY ボルト	下穴寸法 (下穴×深さ)	備考							
AY-74 (M5×65皿頭)	φ8.5~9.5 ×70	別売							

※ ALC 板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。

※木張り下地、ラスボード下地への取り付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に厚さ 30mm 以上の取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

※施工後、紙切板裏の重りケースがきちんと取り付けられているか確認してください。

※シャフトトイレ用リモコンをご使用の場合、付属の説明書に従って施工の上、リモコンが正常に作動することを確認してください。

## 用語および記号の説明

**注意** ----- 「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



----- 「注意しなさい！」 (上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みにになり、記載事項をお守りください。)



----- 「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)

指示実行

## ⚠注意

外れたり、がたが生じないように、強固に取り付けてください。  
※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。



指示実行

取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、AY ボルトを使用してください。  
※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。



指示実行

厚み 18mm 以上の構造用合板 (JAS 規格品) または、同等以上の下地材 (30mm 以上の補強木等) を設けておいてください。  
※土壁・石膏ボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると商品が外れたり、壁が壊れたりして、使用される方が転倒しケガをする恐れがあります。



指示実行